

生きる喜びを再確認

高野山で乳がんの集い

10月27、28日



「乳がんの集いin高野山」のパンフレット

高野

乳がん患者の心のケアをテーマに「生命の祈り」乳がんの集いin高野山（乳がんいのちプロジェクト実行委員会主催、毎日新聞和歌山支局など後援）が10月27、28日、霊場高野山（高野町）で開かれる。全国の乳がん患者や医療関係者らが集い、乳がん撲滅を誓い合うとともに、改めて自分自身と向き合うことで生きる喜び、素晴らしさを再確認する。

初日は安産、授乳の寺として知られる九度山町の慈尊院で「おっぱい絵馬」を奉納。古くからの参詣道「町石道」や高野山内で「ピンクリボン祈りウォーク」をする。2日目は

朝の勤行や写経などで自分を見つめ、午前10時から講演会。乳がん患者会「あけぼの会」のワット隆子会長とNPO法人「HOPEプロジェクト」の桜井なおみ理事長、「おふさ観音」で知られる高野山真言宗別格本山観音寺（奈良県橿原市）の密門光範住職が「いま一度、乳がんを考える」などと題して話す。ダウン症の書道家金澤翔子さんの席上揮毫もある。

参加申し込みは先着300人で9月28日締め切り。宿泊費込み1万3000円。問い合わせは南労会紀和病院（橋本市）内の事務局（0736・33・5000）。「乳がんのちプロジェクト」でインターネット検索し詳細を確認できる。

【上鶴弘志】

MAINICHI

毎日新聞

7月13日(金)

2012年(平成24年)

わかやま
健やか